

進化するスポーティファッション

「スポーツ」はこれからのファッションを提案していく上で大切なキーワードとなります。

おもなスポーティファッションについて解説します。

■スポーツテイストの「レギンス」復活

「レギンス (leggings)」= 本来は足先まですっぽり包むニット製パンツのことです。しかし現在は脚部にフィットし、くるぶしから先のないパンツのことを指しています。70年代の健康志向の高まりとダンスブームにより、活動的で露出度の高いファッションが台頭したこの時期、ダンスウェアでかかせないタイトの足部が切り落とされ、現在のくるぶし丈の、この形に定着したと言われていました。当時は「スパッツ」と呼ばれていました。

現在の「レギンス」はタウンウェアとして、スカートやパンツの下に着用する「レイヤードスタイル (服を重ねる) (図参照) で復活しました。

2007～08年秋冬、2008年春夏コレクションでも、ショートパンツにスポーティな「サイド・ラインをいれたレギンス」の組み合わせや、ロマンチックなフリルスカートに「シャーリングを施したレギンス」を組み合わせるなど、様々なミニ丈ボトムとレギンスの組み合わせがみられました。

■スポーツ+ファッション

タウンウェアの開発でも、服やバック、靴、小物などスポーツテイストを取り入れた商品が台頭しています。

秋冬の人気アイテムである「ダウンジャケットやキルティングジャケット」の開発でも、中綿に吸湿・発熱効果を持つ機能性素材を使用するなど、「スポーツウェアとしての機能性+ファッション性」をテーマに商品企画が進んでいます。

また、老舗ファッションブランドが「ハイカットスニーカー」をファッションの視点で見直し、タウンウェアにかかせない新アイテムとして発表するなど、様々な試みがみられます。

■これからのスポーティファッション

スポーティファッションは今後も進化していくでしょう。商品企画で最も注目されるのは、セクシーなスポーティファッションです。

スポーツアイテム用に企画開発された機能性素材も、身体のラインを強調したシルエットとデザインを加えて新たなタウンウェアとして提案できます。

「レギンス」も身体のラインを見せるシルエットの提案では必要不可欠なアイテムとなります。

事業化支援部 墨田支所

藤田薫子 TEL 03-3624-4091

E-mail: fujita.kaoruko@iri-tokyo.jp

図 レイヤードスタイル

